

健康づくり 生きがいくくり 友だちづくり まちづくり

友の会だより

中野共立健康友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール : a_nozawa@kenyu-kai.or.jp
Tel : 03-3386-9139

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごとなど、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

来賓の方々



東武信用金庫中野支店 支店長 永島健正さん

街角健康チェックのコーナーです。地域の健康づくりの一員として一生懸命汗をかいてまいります。

15人の認知症の高齢者が入居する友の会の会館。つり参加は、友の会の会館の手話で参加させていただきます。やだねといいますが、当日はおめかしして参加感謝しています。



コルテンボ薬師の家 事務局長 本橋秀介さん



中野区社会福祉協議会 課長 松本洋子さん

スマイル福祉まつりでご協力いただいています。健康講座、班会、食事会など自分達で集まり、自分の健康づくりの活動をたくさんやっていることが驚きです。



東京土建中野支部 書記長 長浜一之さん

書記長と言っても、防水屋の親方です。職人は今日も屋根の仕事を頑張っています。健康会とは、のちと暮らしを守ることで協力。都議選、参議院選を前に、TPP、消費税法改悪の阻止のため、お力添えを！



日本共産党 前都議会議員 植木こうじさん

医療や命、平和、人権、社会保障は、憲法に保障された国民の権利。これを守るため、健友会、民医連など広範な人々との共同の取り組みが必要とされています。都議選や、参議院選は、国民的課題を守りましょう。



社会福祉法人愛成会 副理事長 片山泰伸さん

人は所属感、仲間意識が生まれてこそ、人間として生きていける。病所友の会のおかげで、入所できています。お礼の気持ちでいっぱいです。



5月22日、中野サンプラザ13階で、中野共立健康友の会2013年度総会が開催されました。会員、職員118人が参加。「人と人とのつながりを大切に」と榎本会長の挨拶のあと、心のコもった来賓の方々の挨拶。

多彩な友の会活動をスライドで紹介。想いのこもった取り組み発言や「日本のうたごえ」のみなさんの力強い合唱で会場も一気に盛り上がりました。参加者は「友の会総会は楽しくていいね」と口々に話していました。



立体的な紙芝居をつくり、軽妙な話で会場をわかし、食事を「穂の会」の報告をする稲葉和立さん(左上)。屋上庭園の取り組みは、亀田朗子さん。



野菜販売を三鶴小夜子さん。毎週10キロのお米を買い、家族も喜んでる。福島に真心を届けたい」と報告しました。

被災地への支援
いのちを守る
支えあいの
まちづくり



アトラクションは「日本のうたごえ」の合唱



自己紹介を行う新入職員のみなさん

取り組み発言

「花や野菜を植え、憩いの場になっていく。心が癒される、自分の庭だと思つて、楽しんでほしい。」
福島農家支援野菜販売

山田院長の あいさつ



山田院長はこころなさん操をするみなさんの様子を見て「足を鍛えようと注意障害が改善し、脳の発達が良くなる。みんなと集まって運動したり、しゃべったり、一緒にやるのが認知症予防の役に立つ」とりハビリ専門の医師としてまず、話されました。

そして、三つの協力(高齢者支援の住居、施設作り、診療所建替えなど、前進させたい)選挙に行つて、民医連の仲間、小池あきら先生を応援してほしい。安倍政権の「税と社会保障の一体改革」で介護保険の切捨て、自助政策などにノーを言つてもいい。



会員のみなさまから返信ハガキをたくさん頂きました。一部をまとめて、ご紹介いたします。

お便りありがとうございます

総会返信ハガキから 271通

90歳の母の認知症が進んでいます。外出できない、夜中に何回も起きる暮らし、自分も年を重ねていく事を考えると、地域の医療機関がいかに大切かと思えます。
念願のコーラス、英会話のお仲間になり、楽しく習っています。場所を貸してくださり、ありがとうございます。コーラスで声を出して歌うことが楽しくなりました。
夫が家の中しか歩けなく、私はほとんど自分の用で外出できないので、参加が出来なくて残念です。主人の介護でいっぱいです。
目下、リハビリ中。もう少し歩けるようになつたら旅行などに参加したいと思っています。運営されている方々に感謝しています。

健康学習会は色々なテーマがあり、大変興味があります。健康管理に気をつけ日常生活を過ごしていきたいです。
延命や終末期の知識、話し合いは、家族と共に、最も関心の高いものです。学習会で医師のお話を聞きたい。

「世界の宝 平和憲法」を守りましょう



日本国憲法前文には、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理」と明記されています。国民主権と戦争放棄

をうたつた世界に誇るべき憲法を守り、世界の平和に貢献することこそ、戦争で犠牲になつた日本やアジアの数千万人の人々の霊に報いるのではないでしょうか。政府は、この平和憲法を変え、再び、日本を戦争の出来る国にしようとしています。今の私たちの生活は平和憲法の下、成り立っています。惑わされる事なく、一人一人の意志を選挙で表わし、政治を動かしましょう。

(N)

生活保護

中野共立病院
医師 谷川 智行



法案の問題点

自民・公明政権は生活保護「改正」法案を閣議決定し、国会に提出しました。生活保護申請時に、申請書、給与明細などの提出が要件化され口頭申請が認められなくなると、知的障がい者や読み書きが難しい人が排除されやすくなります。

給与明細の出ないブラック企業で働いている人、路上生活者など、困窮の度合いが高いほど申請が難しくなります。

また、家族に扶養義務を求めると、生活保護家庭で育ち何

とか学校を出て仕事についた子どもは、生活保護を受けている両親が亡くなるまで求められ、子どもの自立が阻害されます。親の貧困を子どもに背負わせ、貧困問題を血縁関係に押し込める社会が、まともな社会と言えるでしょうか。

貧困解消は

政治の責任

日本で生活保護を受けている人は215万人。捕捉率（生活保護を必要とする人のうち実際に制度を利用して人の割合）は2、3

割です。生活保護水準以下の低所得者層は、194万人。うち生活保護受給者18%（215万人）、生活保護受給資格があるのに受給していない人38%（457万人）。国会やマスコミでは、「不正受給」こそが大問題と大騒ぎしていますが、実際は「不正受給」はわずか0.5%。本当に問題なのは、生活保護水準以下で生活しているのに制度が利用できない人が、生活保護を受けている人の2倍以上いることです。

ま生活保護を受けている人、特に子育て世帯への生活費支給が大きく減らされています。高齢世帯では、夏の熱中症などによる生命の危機も心配されます。さらに、生活保護基準は就学援助や地方税非課税水準、介護保険・国民健康保険の減免、最低賃金など他制度に連動しているため、低所得者層全体の負担が増えます。

「行不良の者」「扶養義務者が扶養をなし得る者」等を排除する欠格条項がすべて削除され、文字通り、すべての人に無差別平等に「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度となりました。

いま行われようとしている生活保護法「改正」は、60年以上前に乗り越えた問題を、後戻りさせるものばかりです。私たちの人権感覚が問われています。

この問題を都議選、参院選の大争点にして頑張りたいと思います。

早期発見、早期治療に大きく役立つ

区民健診 受けましょう!

6月1日からはじまっています。

【中野区】2013年度
国保特定健診
長寿健診
健康づくり健診
各種がん検診

乳がん・子宮がん検診は予約が必要です。
気軽にお問合せ下さい。
03(33386)9106
(期間) 来年2月28日まで
中野共立診療所3階
健診センターで実施中

友の会の 会員さんを訪問して

医学生担当室主任 中西 龍



東京民医連では医学士奨学生合宿で月1回、ミーティングを行い、医学生が興味関心あるテーマを深め学習しています。

病院での医療活動の実践に触れたり、患者さんへのヒアリング・医療を深める学びやフィールドワークを行っています。今年のテーマは「地域」。

都心部に住んでいる方の家と学生と職員で訪問し、お話し

不自由な体をおして

ボランティア

朝妻さんは、パーキンソン病で働けなくなり、現在、生活保護を受けてアパートで一人暮らしをしています。買物や家事などは自分で行っていません。杖代わりに乗っていた自転車は、転んで肩を骨折してから乗っていません。出かけるのに

朝妻さんは、パーキンソン病で働けなくなり、現在、生活保護を受けてアパートで一人暮らしをしています。買物や家事などは自分で行っていません。杖代わりに乗っていた自転車は、転んで肩を骨折してから乗っていません。出かけるのに



朝妻さん(左) 谷川医師と女子医大生

を聞く事に なりました。中野に住む朝妻明さん(66歳)の会のボランティアをしています。幼少時代の話や北海道での一人親方として働いていた苦労話、今の生活など色々話してもらいました。家の中には、趣味で2年前から始めた大量の手作り凧があり、骨格はもろるん、絵も朝妻さんの手書き。サザエさんやルパン、歴史上の人物までリサイクルの材料を利用して作っています。

話を終え、平和の森公園で凧揚げをする事になりました。朝妻さんの凧揚げは朝妻さんのように病気のため働けなくなつた時、最低限の生活が出来るよう憲法で保障されています。国はその責任を果たして欲しいと思います。

一番の心配は これからの生活

朝妻さんの今一番の心配事はお金のこと。生活保護基準が引き下げになれば、生活していけるかどうか不安だと。朝妻さんのように病気のため働けなくなつた時、最低限の生活が出来るよう憲法で保障されています。国はその責任を果たして欲しいと思います。